

「桜の樹」 ニュースレター vol 22

岡倉天心記念 がん哲学外来・巣鴨カフェ「桜」 2023.5



亀戸天神 ミニオン撮影

咲わたしは、「桜川市」に住んでいます エビチリ(桜海老)🍤

桜川市には「桜川」の源流があって、川は南下して、つくば市～土浦市を経て霞ヶ浦へと繋がっています。

そんな桜川市は「山桜の里」と呼ばれていたり、筑波山からつながるハイキングのしやすい小高い山々が見守ってくれています。

その一つの富谷山にある展望台からは関東平野が一望できて、遠く東京タワーやスカイツリー、そして富士山も見ることができます。

今、ちょうど見頃なのは八重桜の咲く「富谷山ふれあい公園」で、車で登ることができてとてもおすすめの場所です。

こんな田舎に住んでいるわたしは、「がん哲学外来」というつながりで、さくらさんと出会いました。カエル好き、桜好きも共通点です。

さくらさんからいただいた、「『かえるのたまご』のカードには：無事かえる・福をむかえる・よみがえる・若がえる・みちがえる

皆様に笑顔と力がかえりますように かえる玉おひとつどうぞ」と書かれています。さくらさんの笑顔とおもいやりが伝わってきます。

また、さくらさんに会える時を楽しみにしています。

胃の一部に炎症があり総合病院で診察して下さい ミニオン

総合病院で改めて胃カメラでチェックしたところ問題ありません。その先の十二指腸まで検査したところ3ミリのポリープが見つかりました。生検検査したところ問題ありません。「ポリープはガン化しやすいので切除が望ましいとおもいます」
十二指腸は胃とは違って壁面が薄く消化液が多く切除したところから血がかなりふきでる可能性が高く難しい治療です。この話をきいては家族と改めてお話しを聞かせて下さい。

先生はちょっと怖くて。

「次回きたら日程をきめます。私は忙しいので治療の予定がとりにくいですよ」

改めて 家族と話しを聞いたときは先生の様子がかかなり違い
難しい治療ではありますがスムーズに運ぶと思います。

そして入院

血管からのラインを作り二日間、食事はできません。栄養は点滴。口腔内からの内視鏡。なぞなのですがマウスピースをはめた瞬間から意識がなく目がさめたら治療が終わりましたよ。2日目も同じく確認のため同じことを。その日も全くわからないままに終わっていました。

麻酔の注射は無いのです。これはマジックか？

担当医に聞いたらラインから麻酔入れてましたよ。

「そーだったのか」

タイミングが治療の時間ピッタリ。そして家族に「無事に治療が終わりました」と電話をしていました。

この医師は第一印象と全然違うではありませんか。



ユーモアとはユー・モアなり
「あなたをもっと大切に」

堀野顕夫

エビチリちゃんのお素敵なお写真で
作られた堀野先生の処方箋カード



退院後ミニオンから送られてきたお写真に安堵しました! ミニオンよかった!

こんにちは。宮里すみ子です。

今日はお墓について書かせていただきたいと思います。昨年初秋、夫の七回忌と納骨をすませました。市内北部の山の中腹にある樹木葬、エンディングセンター高槻「桜葬」です。バス停から徒歩30分程で行ける美しい墓所です。芝生に覆われた墓地に所々銘板を貼り付ける石が置かれ桜の樹が植えられています。そこの一角に夫を土に還すべく、お骨だけを柔らかい山の土に埋葬しました。

次に私達が「桜葬」を選んだ訳をお話したいと思います。50歳になった頃から自分たちの死後、始末に困るようなもの、娘達が始末に悩むような物は一切残さない、という主義で暮らし始めました。還暦を迎える頃には、暮らしはシンプルになり、家の中は殺風景とも言えるほど物がなくなりました。これで、身の周りは整理されたと思った時、最大の問題が残されていました。「お墓をどうするか」そう思った時、たまたまTVの情報番組で樹木葬を知り調べました。墓石を持たないお墓、そのまま土に還るお墓、美しい自然とともに眠るお墓。そして幸運にも市内にあるエンディングセンター高槻「桜葬」に出会いました。2012年夏のことでした。桜葬には私達夫婦の他、次女夫婦も隣に入ります。

先日、癌になって初めて夫のお墓参りをしました。昨年の納骨の跡がこんもりと解る芝生を撫でると、今までにない親しみと愛情が生々しい感覚で湧いて来ました。

明日(19日)は抗がん剤治療開始後、初めてのCT検査です。よくも悪くも、これまで以上に頑張りたいと思っています。



すみ子さんのお墓参りの際のお写真 桜の樹のもとで・・・!

お出かけの楽しみ

凧ちゃん

季節は春になり、お出かけしたくなる日が多くなりました。近所の散歩も少し足を伸ばしてみたくになります。

八重桜やツツジを見ながら新緑も楽しめる毎日。とても贅沢な時間です。

昨年の5月下旬に那須に行きました。トイレ休憩で立ち寄った東北自動車道下り羽生パーキングに、ずんだ餅の美味しいお店がありました。ずんだは、枝豆をすりつぶして砂糖で味付けしたものです。早速買って食べてみると、自然な甘みの懐かしい味がしました。10年程前に癌で亡くなったお義母さんが、よく作ってくれた味に似ていました。

お義母さんは山形県出身で、名物を沢山作ってくれました。ずんだ餅の他に芋煮や玉こんにゃく、納豆汁など。物産展などで見かけると、つい買いすぎてしまいます。

旅行に行ったり、家族で食事をしたりする機会が増えてきました。たまにはずんだ餅や芋煮を作って、家族でいただきたいと思います。料理の腕に自信はありませんが、私の手作りを食べてもらいたいという思いです。



さくら撮影 色とりどりの花も新緑も美しい季節ですね!

編集後記 さくら

今回も4名の方に原稿寄せていただきました。いつもありがとうございます。早くも夏を感じるような暑い日もありますが、色とりどりの花が次々に咲きだし、新緑も美しく、鯉のぼりも気持ちよさそうにおよぎ、ワクワクします。凧ちゃんのおっしゃるように、この時期のお散歩は贅沢な時間が楽しめますね。これからは、薔薇や紫陽花もきれいになってきます。人生思い出作り!いまこの時を、楽しみたいです・・・* 皆さんもぜひ!

原稿やお写真おまちしております。どうぞよろしくお願いたします。

編集: 岡倉天心記念 がん哲学外来・巣鴨カフェ「桜」 山本 ひろみ

gantetu_sakura@yahoo.co.jp <https://sugamo-sakura.com/>

後援: 一般社団法人がん哲学外来